



**「まとめてクラウドPBX」  
FleaPBX  
導入のすすめ  
[www.fleapbx.com](http://www.fleapbx.com)**

covia



# はじめに

ITベンチャーに限らず、**クリニックや飲食店、美容院などのありとあらゆる業種の自営業** をこれから起業される方は、その事業自体に時間と労力を集中させ、成功のために注力する必要があります。起業準備の段階では携帯電話やメールだけで連絡を取っていたとしても、いよいよ開業して会社として一定の信用を得ていくためには、名刺やパンフレットにしっかり代表電話を記載し、各スタッフがしっかり応答していくことが重要です。

電話、FAX、メールといった旧来のビジネスコミュニケーション手段は、ビジネスチャットなどに大幅に取って変わってきていますが、これを完全に置き換えることはできません。だからこそ、**維持するコストも手間も最小化できるIP電話サービス**が適しています。

携帯電話の普及に従い固定電話の需要は減ってきている一方、IP電話の定着は着実に伸びています。しかしIP電話サービスは中小企業やスタートアップ企業、個人事業にこそ有益なサービスですが、ITベンチャーでもない限り、実際の導入には敷居が高く、旧来の高価な電話交換機とビジネスフォンを購入することになり、導入時や維持コストが負担になっています。そこで「まとめてクラウド PBX」サービスは、最低限のIT知識でも、IP電話サービスの導入を簡単にできるようにしました。

# 導入前準備

まずは申し込みです。申し込み手続きは簡単で、ネットで申し込みいただくと **開通のための接続情報 (IDやアカウント)が発行**されます。IP電話に見識のある方は、その接続情報を元に初期設定を済ませ、自由自在に機能を駆使してお使いください。設定に不安がある方は、サポートブログをご覧ください、順番に進めてください。

まとめてクラウドPBXでは、**初期設定状態で代表電話 (03/050の両方)が着信可能**で、これが内線100, 101, 102の3回線が鳴動する(初期状態)ように設定されています。これは後で設定メニューで変更することもできますが、最初はこのままお使いください。これは実際にオフィスにIP電話機を設置する前から機能しており、着信は携帯電話や自宅の固定電話に転送するように指定できます。

転送設定だけで、ご利用開始できますので、代表番号の03か050のどちらを使うかを決めて<sup>\*1</sup> (併用も可能)、会社のWEBサイトやパンフレット、看板、名刺などに電話番号を入れて印刷を手配することができます。

<sup>\*1</sup> 相手先には03番号で通知されます。03番号通知が問題ある場合は050通知に変更できますので、個別にお問合せください。

# 開通のための接続情報

お申し込みいただくと、開通のための以下の接続情報が提供されます。

番号	SIP登録アカウント	管理アカウント	備考
代表番号03番号	X(クラウド動作)	○	代表番号はクラウドで動作しません(動作設定済み)
代表番号050番号	X(クラウド動作)	○	代表番号はクラウドで動作しません(動作設定済み)
内線100 (050ダイヤルイン付き)	○(ご自分で設定)	○	内線をIP電話機やソフトフォンに設定します
内線101 (050ダイヤルイン付き)	○(ご自分で設定)	○	内線をIP電話機やソフトフォンに設定します
内線102 (050ダイヤルイン付き)	○(ご自分で設定)	○	内線をIP電話機やソフトフォンに設定します
内線103 (050ダイヤルイン付き)	○(ご自分で設定)	○	内線をIP電話機やソフトフォンに設定します
内線104 (050ダイヤルイン付き)	○(ご自分で設定)	○	内線をIP電話機やソフトフォンに設定します

## 代表回線(外線)

代表回線に対しては**管理者アカウントとパスワードのみ**があります。SIP-IDとパスワードはなく、**実体は完全にクラウドPBX側で動作**しており、代表回線は直接IP電話機器には設定しません。代表回線にかかった電話は、必ず内線に転送して使うことになります。

代表回線にかかった電話で、内線の鳴動や自動応答の設定の変更を行う場合には **管理者アカウントでログイン**してください。代表回線については、初期設定状態で内線 100/101/102に転送されており、このままの状態でご利用になることも可能ですので、ご利用に慣れてから設定変更を試みることをお勧めします。

# 内線(050ダイヤルイン付き)

内線のご利用については最初に必ず設定が必要です。各社員の方がそれぞれ個人で設定してお使いください。

内線回線についてはそれぞれ管理ページIDとパスワード、SIP-IDとパスワードがアサインされており、固有のダイヤルイン番号050を持っています。IP電話機器へ設定するのは100~104までのSIP-IDとパスワードになります。各内線の機能設定を行うのが、管理ページIDで、サービス管理サイト(<https://fleapbx.covia.jp/mng/>)からログインします。

初期状態で100, 101, 102の3回線は代表電話への着信が設定されていますので、100は会社の事務所のメイン電話機(固定電話)にアサインし、親番号とすることとし温存することをお薦めします。101からを各社員用の個人内線番号とし、事務所の開業ができるまでの間は、携帯電話(スマートフォンやガラケー)で受けておくと良いでしょう。

代表番号に着信しても鳴動しない103, 104は、外出・打合せなどの多い営業の方が利用すると良いでしょう。

100~の内線のアカウントから転送設定を設定します。転送先には自分の携帯番号、呼出時間は呼び出したい時間より数秒長め<sup>\*1</sup>に設定してください。ここから他のアカウントを設定していきますが、それまでは代表電話にかかった着信はすべてご自分の携帯電話で着信できます。サービス管理用のサイトに、100~のアカウントとパスワードでアクセスしてください。

<https://fleapbx.covia.jp/mng/>

\*1 携帯電話の着信音が鳴るまでに数秒かかります。

# インターネット回線の導入

まとめてクラウドPBXを使えば、従来のような電話交換機 (PBX) やビジネスフォンは必要ありません。導入に必要なのは、**通常の業務にもご利用になる一般的なインターネット回線**だけです。IP電話は有線LAN環境であれば特別な配慮をするまでもなく、とても安定しており、ADSL回線でも光回線でも問題ありません。IP電話専用を用意する必要もなく、通常のインターネット用途と兼用で用意します。インターネットサービスの比較サイトなどを参考にして、導入してください。

IP電話機はネット販売もされている安価なものがご利用になれます。通常のパソコンやプリンタなどと同様に**LANケーブルを接続するだけで高性能なビジネスフォンとしてご利用** できます。

電話機の設置場所は同一オフィスである必要がありません。離れた事業所、ご自宅、移動中のスマホ、海外拠点でもご利用いただけます。設定の終わった電話機をそのまま移動させれば、その場所が新たなオフィスとして使えます。

# 内線100番号はオフィスの親電話として利用

まとめてクラウドPBXには5つの独立した内線番号が含まれており、100, 101, 102は代表番号に着信した場合に同時に鳴動するようになっています。100はオフィスの親電話とし、オフィスに常駐する方が主に利用するようにすると便利です。

初期状態では103と104は代表電話とは連携していませんが、連動するようにも設定変更できます。

内線番号が足りなくなったら、1番号単位で追加ができます。



# 自動応答機能

## 条件設定

自動応答のための条件設定を行います。応答の開始と終了時刻、対象の曜日が複数指定できます。条件設定には優先順位があり、番号の若いほうの設定から優先されます。応答するまでの待ち時間が指定できるため、10秒間呼び出して応答がない場合に次の動作を行うといった指定ができます。設定条件に合致すると、以下の3種類のいずれかの機能が自動応答するように指定できます。

### 1. 転送設定

登録した電話番号(複数同時指定、順次転送指定可能)に自動転送を行います。

### 2. 音声アナウンス

予め登録されている音声メッセージか、ご自分で録音した音声メッセージで自動アナウンスすることができます。業務時間外や休業中のアナウンスに使います。

### 3. ボイスメール

離席中の伝言メッセージをお預かりし、登録済みのメールアドレスに音声ファイルとして転送します。